資　　料　6

令和８年度第３回
関東地方整備局
事業評価監視委員会

報告案件資料

＜再評価＞
常陸利根川直轄河川改修事業

令和8年10月29日
国土交通省　関東地方整備局

（再評価）常陸利根川直轄河川改修事業

1. 目　的

- 出島地点及び白浜地点において、戦後最大洪水である平成3年10月洪水と同規模の洪水が発生しても、災害の発生の防止又は軽減を図る。
- 戦後最大規模（H3.10洪水）のピーク湖水位はY.P+2.50m（西浦 湖心地点）となる。

2. 事業概要

- 事業概要：堤防の整備、波浪対策　等
- 事業期間：平成28年度～令和27年度
- 全体事業費：約364億円（前回：約324億円）

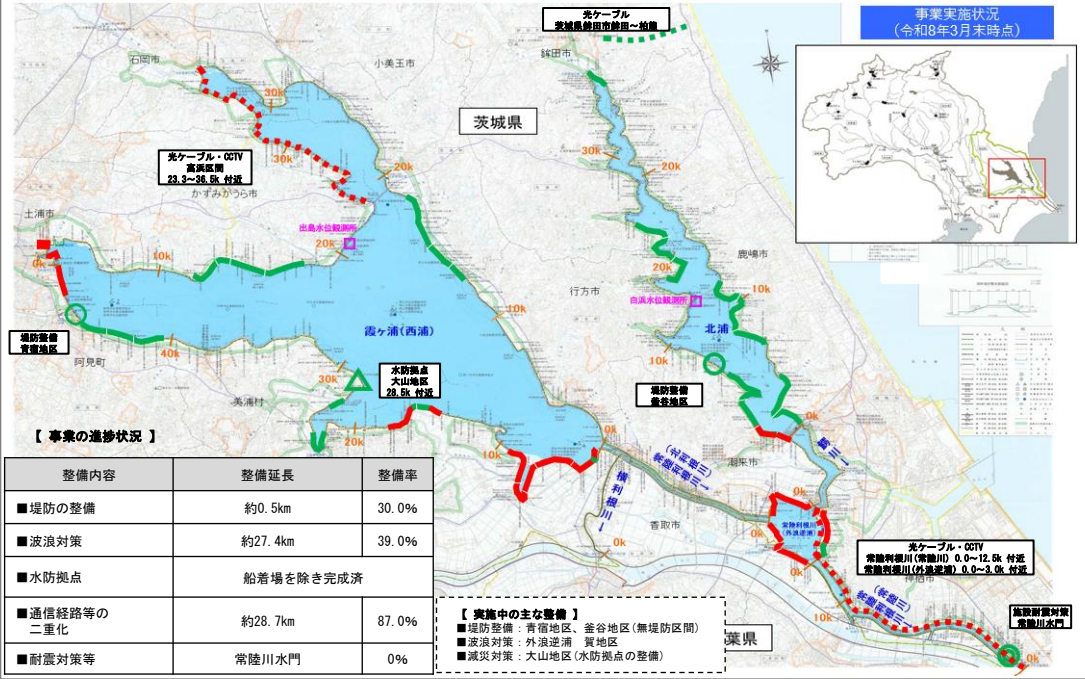
3. 概要図

凡　例	
内　容	実施状況
○ 堤防の整備 波浪対策	実施済 未実施（実施中）
◎ 地震・津波遡上対策（施設の耐震対策）	
△ 緊急復旧活動等の拠点	
■■■■ 通信経路等の二重化	

■ 位置図



■ 整備メニュー位置図



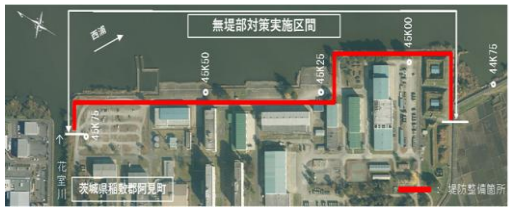
【 事業の進捗状況 】

整備内容	整備延長	整備率
■堤防の整備	約0.5km	30.0%
■波浪対策	約27.4km	39.0%
■水防拠点	船着場を除き完成済	
■通信経路等の二重化	約28.7km	87.0%
■耐震対策等	常陸川水門	0%

【 実施中の主な整備 】
■堤防整備：青宿地区、釜谷地区（無堤防区間）
■波浪対策：外浪逆浦　貸地区
■減災対策：大山地区（水防拠点の整備）

4.事業の進捗等

■ 堤防整備



▲西浦（阿見町青宿地先）

- 2箇所の無堤区間(西浦:阿見町青宿地区、北浦:潮来市釜谷地区)において整備を実施中。





■ 波浪対策

- 波浪による堤防侵食を防止するために、離岸堤や護岸整備を実施中。

西浦（潮来市永山地先）の整備事例▶





【事業費】
・物価が上昇したことによる事業費増
・地質調査等の結果、軟弱地盤対策が必要となったことによる事業費増
【事業期間】
・変更なし

5.事業の効果等

- 戦後最大の平成3年10月洪水と同規模の洪水による災害の発生の防止又は軽減。
- 計画規模を上回る洪水や施設の能力を上回る洪水が発生した場合においても、人命、資産、社会経済の被害をできる限り軽減。

6. 事業の投資効率性

※B,C：現在価値化後

【全体事業】

（今回）		（前回）	
総便益B	約776億円	総便益B	約679億円
総費用C	約253億円	総費用C	約211億円
B／C	3.1	B／C	3.2

【残事業】

（今回）	
総便益B	約668億円
総費用C	約138億円
B／C	4.9

※社会的割引率の参考比較値　全体事業4.6（2%）、5.8(1%)　残事業費6.6（2%）、7.9（1%）

7. 対応方針（案）

- 当該事業は、現段階においても、災害の発生の防止又は軽減を図る目的における事業の必要性は変わっておらず、現行の河川整備計画に基づき、引き続き事業を継続することが妥当と考える。